

もり 私たちのくらしと水源の森林づくり

- 水源林造成事業は、ダム上流域など水源涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、水源涵養機能が劣っている無立木地、散生地、粗悪林相地などを対象に森林を造成する事業です。
- 昭和36年に事業が開始され、これまで全国で約49万ha、東京都と神奈川県に相当する水源林を造成してきました。
- 成林した水源林は、国民の皆様の生活に不可欠な水を育み、土砂の流出や山地の崩壊防止などに大きく役立っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



森林整備センターは、森林の造成や整備を通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

水源林造成事業について



○全国各地の重要な水源地域において水源林を造成しています。



○分収造林契約に基づき、水源を涵養するための森林の造成を行い、森林の有する公益的機能を発揮させるために事業を行っています。

○主伐・収益分収
(造林地所有者40%：造林者10%：造林費負担者50%)

未来に向けた森林づくり

- 森林の持つ公益的機能をより高度に発揮させるため、針葉樹・広葉樹が混じった**針広混交林**や、林齢が異なる複数の樹冠層となる**育成複層林**の造成に取り組んでいます。
- 将来主伐する際には、伐採面積を縮小・分散化させ、公益的機能に配慮した施業に取り組むこととしています。

【針広混交林】



当初から生育していた広葉樹等や事業開始後に侵入した広葉樹等を活かしながら植栽木を育成することで、針広混交林を造成

【育成複層林】



帯状または群状に上層木を残し、複数の樹冠層を有する育成複層林を造成

水源林の公益的機能

水源涵養効果	環境保全効果	山地保全効果
<ul style="list-style-type: none"> ○良質で豊かな水を供給 ○洪水防止や水質の浄化 <p>年間約30億m³を貯水 (東京都で使う約2年分の水量に相当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○二酸化炭素の吸収 ○酸素の放出・大気浄化への寄与 <p>年間約236万トンの二酸化炭素を吸収 (約167万世帯が1年間に消費する電力の発電時に排出されるCO₂量に相当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂の流出・崩壊の防止 ○災害に強い森林整備 <p>毎年約8千9百万m³の土砂の流出を防止</p>

水源林の公益的機能の効果額は、貨幣換算可能なものだけでも、**年間約8千7百億円**

(注) 公益的機能の効果額は、昭和36年度から令和2年度までの60年間に造成された水源林造成事業地全体が令和2年度の1年間に発揮した、「水源涵養効果」「環境保全効果」「山地保全効果」を試算しています。

地域振興への貢献

○水源林造成事業は、年間延べ約61万人の山村地域の人々の仕事場となり、地域振興に貢献しています。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター